

発行日 2011. 8. 31

エコアクション21

# 環境活動レポート

第55期（2010.6.1～2011.5.31）



# 1. 事業の概要

## 1. 事業所名及び代表者名

株式会社エヌ・ビー中根屋  
代表取締役社長 増田真司

## 2. 所在地(本社事務所)

〒422-8585 静岡県静岡市駿河区有東二丁目2番20号  
TEL:054-283-1651 FAX:054-284-8585  
URL:http://www.nakaneya.com Eメール:office@nakaneya.com

## 3. 対象事業所及び所在地

◆本 社	静岡県静岡市駿河区有東二丁目2番20号
◆商品センター	静岡県静岡市駿河区有東二丁目2番20号
◆富士営業所	静岡県富士市瓜島町149番地の1
◆静岡営業所	静岡県静岡市駿河区有東二丁目2番20号
◆藤枝営業所	静岡県藤枝市高洲1丁目16番20号
◆袋井営業所	静岡県袋井市山科2513番地の12

### 【関連会社】

◆東海オペレータ販売(株) 静岡県静岡市駿河区有東二丁目2番20号

## 4. 環境管理責任者及び担当者氏名、連絡先

◆環境管理責任者 富士営業所	前田恭次 <a href="mailto:maeda@nakaneya.com">maeda@nakaneya.com</a>
(連絡先)	TEL:054-287-2313 FAX:054-286-7601
◆環境管理事務局 総務部	石川博昭 <a href="mailto:h-ishikawa@nakaneya.com">h-ishikawa@nakaneya.com</a> 増岡明美 <a href="mailto:masuoka@nakaneya.com">masuoka@nakaneya.com</a>
(連絡先)	TEL:054-283-1651 FAX:054-284-8585

## 5. 事業の内容

軸受及び関連品、油空圧機器、伝導機器、電気機器、制御機器、省力化機器の販売



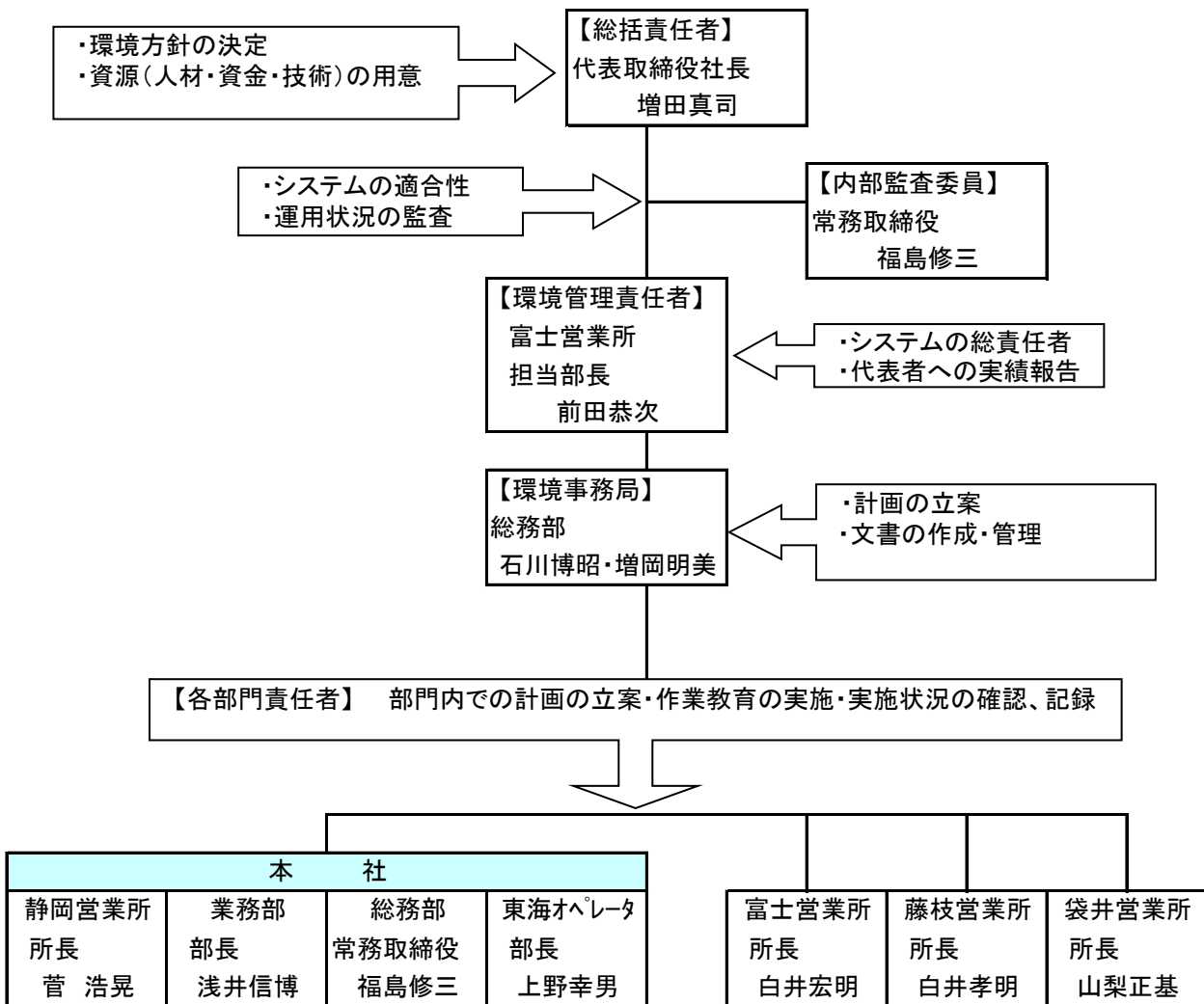
## 6. 事業の規模

活動規模	単位	第53期	第54期	第55期
		2008年度	2009年度	2010年度
売上高	百万円	4,511	3,085	4,225
従業員	人	67	64	63
敷地面積	m <sup>2</sup>	2871.71	2871.71	2871.71

注) 毎期: 6月1日～翌年5月31日

注) 従業員数は毎期5月31日時点の人数とする

## 7. 実施体制図



## 2. 経営理念・環境方針

作成日 2006年10月 1日  
株式会社 エヌ・ビー中根屋  
代表取締役社長 増田真司

### 経営理念

1. 企業活動を通して、地域社会の発展と繁栄に貢献する。
2. 企業活動を通して、社会と共に発展し永続する。
3. 企業活動を通して、互いに生きがいと働きがいを見出し、生活の安定と向上を目指す。

### 環境方針

#### 環境基本理念

企業活動を通して、社内環境保全のみならず地域社会への環境保全の働きかけを行い、地域環境との共生を図り、社会の調和ある発展に貢献できるよう、不断の努力を行います。

当社は企業活動を通し、一人ひとりが環境への心配りを持って地域環境の保全向上に努めることを経営の重要課題の一つとして行動します。

1. 当社の事業活動を通し、下記の各分野において環境への配慮に努めます。
  - (1) 環境にやさしい製品の販売及び顧客に対する環境情報の提供
  - (2) 物流での省資源・省エネルギー化
  - (3) 会社の紙・ごみ・水・電気の削減
2. 環境に配慮した行動が出来るように従業員の環境保全意識の向上に努めます。

### 3. 環境目標と実績

#### 1. 環境目標

本社移転をし、新体制となった53期(2008.6.1~2009.5.31)の実績をもとに、毎期電力・ガソリンの使用量の1%以上削減を目指し、二酸化炭素排出量1%以上の削減につなげていきたいと思っております。

- ①当社の二酸化炭素排出量の8割を占めているガソリン使用量の削減を重点に取り組む
- ②環境にやさしい製品の販売及び顧客に対する環境情報の提供に努める
- ③環境保全に対する従業員の意識向上に努める

#### 2.環境負荷の状況(全社計)

項目				2008年度	2009年度	2010年度	
1	電力	使用量(kwh)	目標値	131,021	119,781	118,583	
			実績	120,991	110,007	114,245	
		CO2排出量(Kg-CO2)	目標値	49,525.94	45,277.22	44,824.37	
			実績	45,734.60	41,582.65	43,184.61	
			対目標値	▲ 3,791.34	▲ 3,694.57	▲ 1,639.76	
2	ガソリン 軽油	使用量(ℓ)	目標値	ガソリン	87,150.35	85,963.49	85,103.86
				軽油	3,050.26	2,532.67	2,507.34
			実績	ガソリン	86,831.81	84,126.69	84,421.19
				軽油	2,558.25	1,968.84	2,536.90
		CO2排出量(Kg-CO2)	目標値	210,338.40	206,224.58	204,162.34	
			実績	208,307.66	200,480.48	202,654.99	
			対目標値	▲ 2,030.74	▲ 5,744.11	▲ 1,507.35	
3	水道	使用量(m <sup>3</sup> )	目標値	814	806	798	
			実績値	1,064	812	982	
4	廃棄物	廃棄量(m <sup>3</sup> )	目標値				
			実績値	9.5	3.5	4.4	

※廃棄物・・・プラスチック類・木くず

#### 2. 単年度及び中期目標

		単位	2008年度 基準年	2011年度 目標	2012年度 目標	2013年度 目標
電力	使用量	kwh	120,991	117,397	116,223	115,060
	CO2排出量	kg/CO2	45,734.60	44,376.07	43,932.29	43,492.68
ガソリン 軽油	使用量	ℓ	89,390.06	86,735.09	85,867.74	85,009.06
	CO2排出量	kg/CO2	208,307.66	202,120.71	200,099.51	198,098.52
年間CO2排出量		kg/CO2	254,042.26	246,496.78	244,031.80	241,591.20
対前年比		kg/CO2		-7,545.48	-2,464.97	-2,440.60

## 4. 主要な環境活動計画の内容

### 1. 二酸化炭素排出量を毎年1%以上削減する

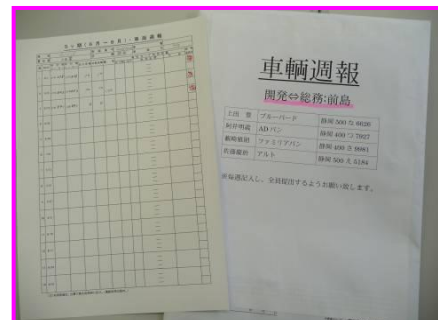
#### (1)電力

- ①エアコンの設定温度は冷房時28℃、暖房時20℃を徹底する
- ②昼休み中の事務所、倉庫の不要な照明は消灯を徹底する
- ③外出時はパソコンの電源を切る。長時間席を離れるときはモニター電源OFFを徹底する
- ④不在場所の消灯の徹底をする
- ⑤毎月1回、エアコンフィルター掃除を実施する
- ⑥省エネタイプの電化製品の購入



#### (2)ガソリン・軽油

- ①エコドライブ10の教育と実践
- ②タイヤの空気圧のチェック
- ③急発進、急加速、急ブレーキをしない
- ④無駄な荷物を積んだまま走らない
- ⑤効率の良い運転ルート
- ⑥車両週報の記入



### 2. 水資源の使用量・排水量を毎年1%以上削減

- ①節水に心がけ水の垂れ流しをしない
- ②定期的な水漏れの点検

### 3. 廃棄物発生量を把握し毎年2%以上の削減をする

- ①ゴミの分別の徹底
- ②紙類・プラスチック・鉄くず等のリサイクルの徹底
- ③仕入先と梱包材の減量化に取り組む
- ④FAXの利用からメール活用でコピー用紙の削減
- ⑤洗剤などは詰め替え可能な商品を購入する
- ⑥割り箸などの使い捨て商品を使わない



#### 4. 環境にやさしい製品の販売及び顧客に対する環境情報の提供

- ①各種展示会における省エネ商品の展示及びPR活動
- ②各種カタログ、パンフレット等による省エネ商品の情報提供
- ③既存商品より省エネ対応商品への置換えの推進
- ④省エネ商品の取扱いの拡大
- ⑤省エネ商品の販売推進



#### 5. 環境にやさしい商品の積極購入

- ①洗剤等は詰め替え商品を購入する
- ②文具・洗剤等については環境負荷の少ないグリーン商品に切り替える
- ③電化製品については消費電力を考慮して購入する
- ④車輛については定期点検のうえ車輛状態を把握し計画的に買い替えを行う

#### 6. その他の取り組み

##### (1) 地域環境整備への協力

- ①小さな親切運動への参加
- ②古切手の回収



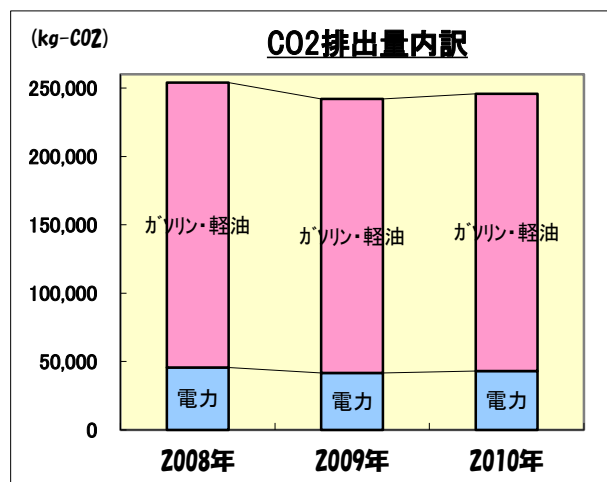
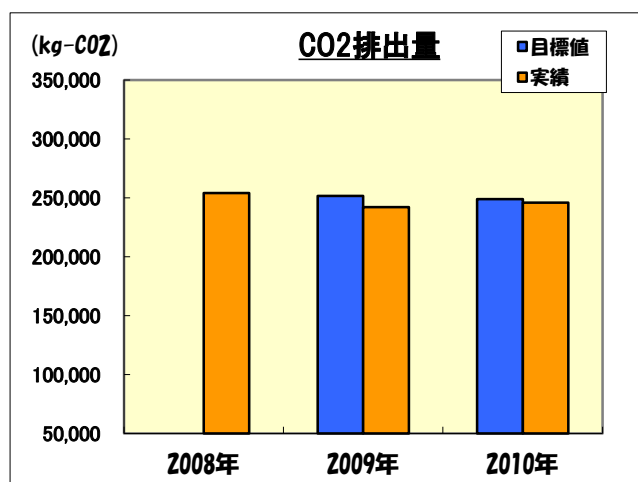
##### (2) 社員への教育活動

- ①朝礼時の『環境方針』の唱和
- ②チェックシートによる各項目の徹底
- ③社内エコ活動月次報告の発行
- ④毎月1回の月次報告会の実施

## 5. 取組結果の評価

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

	(kg-co2)		
	2008年	2009年	2010年
電力	45,734.60	41,582.65	43,184.61
ガソリン・軽油	208,307.66	200,480.48	202,654.99
CO2排出量合計	254,042.26	242,063.13	245,839.60
目標値		251,501.80	248,986.70
対目標値		▲ 9,438.67	▲ 3,147.10



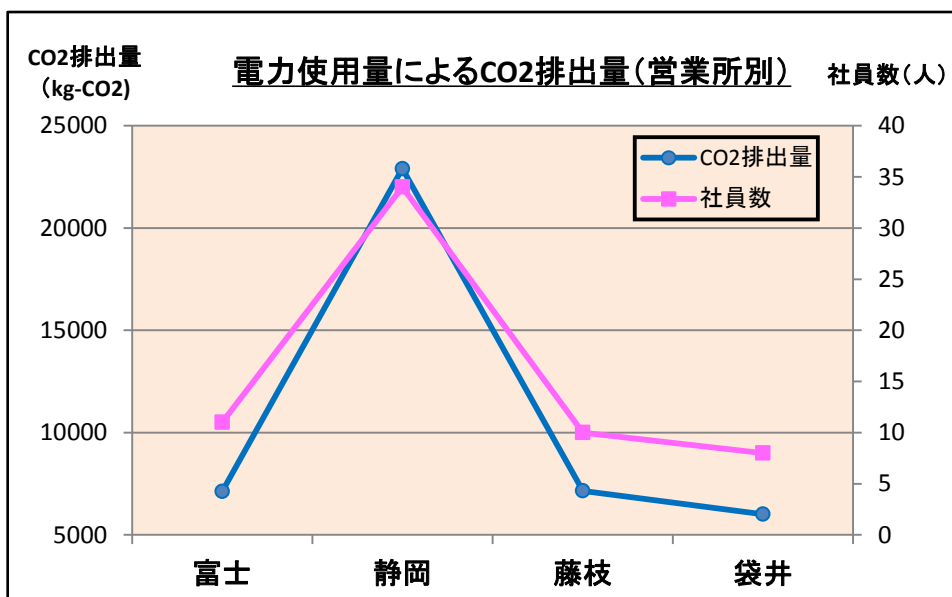
基準年(2008年度)に対して毎年1%以上の削減は達成できましたが、2009年度と2010年度を比較すると、電力・ガソリン使用量とも増加し、CO2排出量も増えています。

売上の伸びとともに、電力の使用量・ガソリンの使用量も増える傾向にあります。車両の燃費率の向上や業務の効率を上げてCO2削減に取り組んでいきたいと思っております。

#### (1) 電力

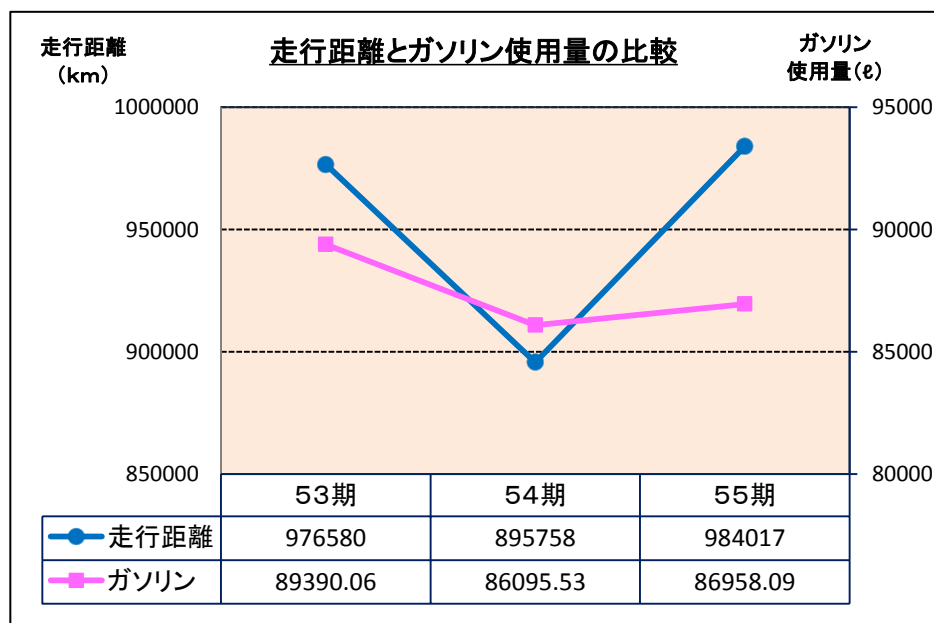
- ① エアコンの設定温度は冷房時 28℃、暖房時 20℃が徹底できました。  
これはクールビズの推進により社内でのノーネクタイ、また女性社員の夏服をクールビズ対応の物に買い替えたことも大きな要因だと考えられます。
- ② エアコン使用時には扇風機を併用し電力の消費を抑えました。
- ③ 不在箇所の照明の消灯や昼食時の消灯が徹底できました。
- ④ 営業所を含め6台のデジタル複合機を省エネタイプのものに買い替えました。(2011年4月)  
スキャナーの性能も良く、コピーのカウント数管理もできるのでこれから大いに活用していきたいと思っております。

	富士	静岡	藤枝	袋井
CO2排出量 (kg-CO2)	7119.25	22901.51	7150.25	6013.60
社員数(人)	11	34	10	8
社員一人当たりのCO2排出量 (kg-CO2)	647.20	673.57	715.03	751.70



## (2) ガソリン・軽油

- ① エコドライブ10が社員に浸透してきたと思います。
- ② 計画的に車輛の買い替えを行いました。市内の小回りには軽自動車を購入しました。
- ③ 車輛週報の記入により1ヶ月間の走行距離を把握し、燃費を意識するようになりました。
- ④ 目標に対して3147.10kg-CO2の削減が達成できたものの、昨年度より3776.47kg-CO2増えてしまいました。これは車輛が1台増えたことが要因の一つだと考えられます。



## 2. 水資源の使用量・排水量の削減

- ① 日常的な使用の中での削減を試みましたが、各部署とも全体に少しずつ増えてしまいました。要因を究明することは難しいですが、一人ひとりの心掛けが数字に表れているように思います。

### 3. 廃棄物発生量の削減

- ①ゴミの分別回収が徹底されました。分別が徹底されることできちんとリサイクルに廻すことができました。
- ②仕入先の協力により梱包材の減量化が進みました。
- ③洗剤等は詰め替え商品を購入に努めました。
- ④産業廃棄物処理委託業者への実地確認ができなかったので来期早々に行いたいと思います。

### 4. 環境にやさしい製品の販売及び顧客に対する環境情報の提供

- ①2009年度版ガイドラインに基づき『環境にやさしい製品の販売及び顧客に対する情報提供』を行ってきました。今年度は数値目標は掲げませんでしたが、管理品目を絞り込むことができました。
- ②2010年10月20・21日静岡市内でテクノフェアを開催しました。52社のメーカー様にご協力を頂き最新鋭の省力機器の展示やセミナーが行われ、大勢のお客様にご来場いただきました。

### 5. 環境にやさしい商品の積極購入

- ①2009年度版ガイドラインに基づき、社内で使用する消耗品等のグリーン商品へ切り替えを進めてきました。事務用品類はすでにグリーン商品を多く購入していました。  
今年度は数値目標は掲げず現状把握となりましたが、来年度は具体的な数値をあげていきたいと思えます。
- ②洗剤等は環境にやさしいタイプの物で、詰め替えが可能な商品の購入をしました。
- ③使い捨て商品の購入を控え替え芯や補充液等により、繰り返し使用が可能な物を選定しました。

### 6. その他の取り組み

- ①年4回行われる小さな親切運動に社員及び社員の家族も積極的に参加してくれました。
- ②社内エコ活動月次報告の中で営業マンからのエコ製品の紹介やエコに関する情報を掲載し社内での情報の共有ができました。
- ③2011.3.11の東日本大震災により災害時の避難場所・連絡手段・非常用品の保管など多くの課題を与えられました。また、富士営業所は計画停電の対象となり、どれほど普段電力に頼って業務を行っているのか痛感しました。  
緊急時の対応を早急に整えるとともに、電力不足が予想される来期はさらに節電対策に取り組んでいかなければならないと考えています。

## 6. 環境関連法規

### 1. 適用となる主な環境関連法規

遵守義務を伴う環境法規は次の通りです。

法令等	適用詳細	評価
◆廃棄物処理法・条例	廃棄物の適正処理	○
	廃棄物の保管・管理	○
	廃棄物処理業者との委託契約	○
	廃棄物処理委託業者の実地確認	△
	マニフェストの交付・保管・報告	○
◆家電リサイクル法	特定家庭用機器のリサイクル	○
◆フロン回収・破開放法	特定製品のフロン類の適正処理	○
◆自動車リサイクル法	使用済自動車の業者への引渡し	○
	エアコンのフロン類の適正処理	○
◆浄化槽法	定期保守点検の実施	○

### 2. 違反・訴訟等

- ◆過去3年間、当社の事業活動において関係当局からの法令違反の指摘はありませんでした。
- ◆本社及び各営業所周辺住民からの環境に関する苦情はありませんでした。
- ◆環境に関する訴訟はありませんでした。

## 7. 代表者による全体評価と見直し

地球温暖化防止対策に加え、3月の大震災関連による電力不足への対応など、環境活動・省エネルギーへの取り組みは更に重要度を増しております。そこで、当社としても今まで以上にこのエコアクション活動に重きをおき推進して参りたいと考えております。

当社の活動としては、大きく二つに分けられます。一つは社内での環境活動の推進、そしてもう一つはお客様への環境情報の提供及び環境製品の販売活動です。社内環境活動に関する2010年の実績は目標値はクリアしたものの対前年に対し進歩が今一つでした。今年度11年度に関しては、かなりの工夫と努力をしておりますので、電力を中心にCO2排出量削減が出来ると予想されます。

また、お客様への環境情報・環境製品の提供に関しては、お客様の関心が高まっていることもあり当社としても更に積極的に取り組みを行っております。2012年2月に行なう『中根屋テクノフェア2012』では、環境製品コーナーを設け更に積極的な情報・製品の紹介を行なっていきます。

今年度も各部署にてアイデアを出し創意工夫を行ない環境活動に取り組んで参ります。

2011年8月

株式会社エヌ・ビー中根屋  
代表取締役社長 増田真司